

レーザー白内障手術や多種類の老眼治療を選択できるクリニック。見え方の質向上とより安全な治療を追求

白内障は60歳代で50%前後、70歳以上では約100%の人にあり、老眼は40歳代後半から60歳代にかけて進行します。富田実アイクリニック銀座では、レーザー白内障手術や多種類の多焦点眼内レンズや角膜インレー、老眼レーザーなど、目に優しく質の高い治療を提供しています。

白内障治療で選ぶ人が増加 レーザー手術と多焦点眼内レンズ

日本でいま一般的に行われている白内障の手術は、焦点が1カ所だけ合う単焦点レンズを用いたものですが、最近では遠近、遠中近両用といった多焦点レンズを選択する方が増えています。多焦点レンズは健康保険の適用外なので費用はかかりますが、術後に眼鏡を使う必要がなくなるという大きなメリットがあります。

白内障手術の安全性がレーザー



院長 富田 実

とみた・みのる / 医学博士、日本眼科学会認定眼科専門医、元米国ハーバード大学眼科研究員、アメリカ眼科学会役員、国際屈折矯正学会役員理事、温州大学医学部眼科 臨床客員教授。

白内障はないけれども老眼で不便を感じているという方には、角膜インレー、遠近両用レーザーシク、老眼用フェイクチックIOL(有水晶体眼内レンズ)という3つの選択肢を用意しています。角膜インレーは、厚さ5μmのフィルムを角膜に入れる治療法で、ピンホール効果によって

白内障手術装置の進歩によって向上しました。この装置の使用によって、これまで術者の手で行われていた困難な手術手技をコンピュータ制御で出来るようになり、多焦点眼内レンズの手術成績が格段に向上しました。

老眼の治療には3つの選択肢 目の状態や生活スタイルを考慮

白内障はないけれども老眼で不便を感じているという方には、角膜インレー、遠近両用レーザーシク、老眼用フェイクチックIOL(有水晶体眼内レンズ)とい

近方視力を回復させます。

遠近両用レーザーシクは、遠視、近視、乱視を同時に治療できます。8次元で目を追いかける装置や低エネルギーのレーザーを用いて手術を行います。手術時間も両目で5分程度と短く、痛みもありません。

フェイクチックIOLは、遠近両用の眼内コンタクトレンズを、水晶体と、瞳孔を調節する虹彩との間に挿入する方法で、角膜を削らずにすることがメリットで、いつでも取り除けます。

このように、当院では多くの白内障、老眼の治療法を選択していただけます。どの治療が適切かは、その方の目の状態や生活スタイルによって異なるので、患者さんとよく話し合いながら決めていきます。

海外の新しい治療を 時間差なく日本にも導入

日本の皆保険は、多くの人が一定レベルの医療を少ない自己負担で受けられるものの、新しい治療法の導入が遅れがちになることは否めません。多焦点眼内レンズに関しては、日本では遠近両用レンズが主流ですが、ヨーロッパでは遠中近の3焦点レンズが主流になり始め

ています。

また、多くの選択肢を用意して、患者様のライフスタイルに合った治療法や眼内レンズ



2011年、米国白内障屈折矯正学会(ASCRS)にて角膜手術、屈折矯正手術部門最優秀賞受賞。2012年にはグランドプライズ(全部門最優秀賞)も受賞。

より質の高い生活を求めるのは人間として当然のことです。患者様のライフスタイルを重視し、見え方の質向上と、安全性の確保を両立させた治療を追求しています。



富田実アイクリニック銀座

所在地 東京都中央区銀座4-12-19日章興産ビル4階
電話 03-6228-4200
FAX 0120-7878-72
URL <http://www.tomita-ginza.com/>

自由診療(保険適用外)レーザー白内障手術(多焦点レンズ含む):約75万円(両眼) レーシク:約20万円(両眼) 遠近両用レーザーシク:約40万円(両眼) 角膜インレー:約22万円(両眼) フェイクチックIOL:約34.8万円(両眼)